

令和6年12月2日

石巻市議会議長 遠藤宏昭 殿

産業建設委員会
委員長 星 雅 俊

視察報告書
視察の概要は下記のとおりです。

記

- 1 参加委員 委員長 星 雅 俊
副委員長 勝 又 和 宣
委 員 宇都宮 弘 和、丹 野 清、
阿 部 久 一、渡 辺 拓 朗、
後 藤 兼 位
- 2 視察日時 令和6年10月16日から
令和6年10月18日まで 3日間
- 3 視察先及び視察内容
(1) 静岡県御前崎市
・リターン就職応援プロジェクトについて

(2) 静岡県磐田市
・おせっかい支援事業について
- 4 視察目的 別頁のとおり
- 5 視察概要 別頁のとおり
- 6 所 感 別頁のとおり
- 7 添付書類 別頁のとおり
- 8 経 費 8人 606,360円 (随行職員の旅費を含む)

静岡県御前崎市

・リターン就職応援プロジェクトについて

○視察目的

御前崎市は、静岡県の南端、静岡市と浜松市のほぼ中間に位置し、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前埼灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など自然に恵まれた市である。市内には、5万トン級の大型コンテナ船が接岸できる多目的ターミナルを持つ重要港湾御前埼港や、最先端技術を結集した浜岡原子力発電所が立地し、物流、エネルギー基地としての基盤が整っている。平成21年には隣接する牧之原市に静岡空港が開港し、空港と港を結ぶ高規格道路の整備も進み、陸・海・空の玄関口として将来に向けて大きく発展することが期待されている。

御前崎市では、若者の働く場の確保と企業の雇用確保による安定経営を支援することで、人口流出を抑制し、持続可能な地域の創出へつなげることを目的として、リターン就職応援プロジェクトを実施している。大学卒業後に御前崎市に戻り地域企業へ就職する意向があれば、就職前後の支援を行っている。

本市でも、人口流出、人口減少が続き、消滅可能性自治体と指摘されており、若者の働く場の確保が重要であることから、御前崎市の取組を学び、今後の本市の事業の参考とする。

○視察概要

1. プロジェクト創生の経緯

【課題】御前崎市…人口減少、産業の衰退 ⇒ 税収の減少

島田掛川信用金庫…取引先の人手不足による生産性の低下

担い手不足による廃業の増加 ⇒ 事業基盤の弱体

県内外に進学する学生に対して御前崎市の魅力を発信、将来地元で活躍する若者を増やしていく。

御前崎市と島田掛川信用金庫が地方創生包括連携協定締結
課題を解決するために御前崎市リターン就職プロジェクトが始まる

【プロジェクトイメージ図】



2. 事業内容

【企業と若者の相互交流事業—企業と若者をつなぐ—】

- (1) 専用のHPなどによる情報提供
 - ・企業情報の提供により、市内及び近隣企業を知ることができる
 - ・インターンシップ情報の提供
 - ・企業の経営者や先輩の声を聴く
- (2) 合同企業ガイダンスの開催・企業向けセミナーの実施
- (3) 御前崎市就職応援サイト「TERRACE」を開設



登録企業のアンケートから出た意見

- ・採用人数が少ない中で会社独自の研修ができない。
- ・セミナーに時間を使えない。
- ・若手社員が働く意欲を持つセミナーを実施してほしい。
- ・社内でのコミュニケーション能力を身につけてほしい。
- ・接遇研修を実施してほしい。

セミナー開催時の様子（34名参加）



【リターン就職応援助成金制度】

高校卒業後の進学先に必要な資金を連携金融機関から借入れ、卒業後に御前崎市内に在住し、御前崎市及び近隣市の企業に就職した学生の保護者に対し、借入利息相当額（最大2.0%）を助成金として支給する。

また、御前崎市内に在住し、市内同一企業に5年間就職した場合は、借入元金の20%を助成金として支給する。※借入はプロジェクト参加学生の保護者

<対象ローン>

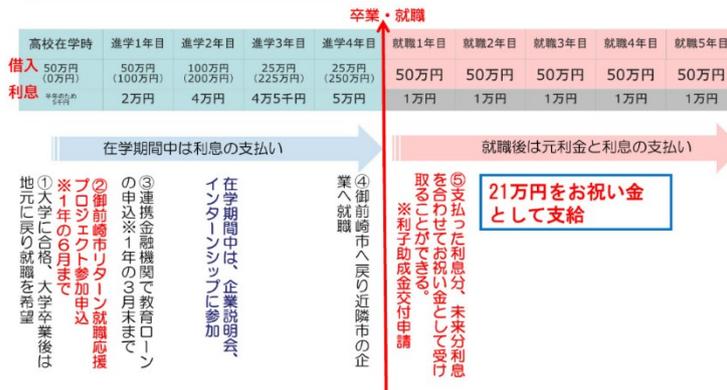
連携金融機関が制度に合わせリターン就職応援ローンを設計、プロジェクトに参加した学生の保護者に低利率で販売、提供

島田掛川信用金庫	通常3.5%	⇒	2.0%
静岡銀行	通常3.7%	⇒	2.15%
静岡県労働金庫	通常3.0%	⇒	2.0%

<4年生大学進学者利用イメージ(卒業後近隣市に就職した場合)>

▶ 4年生大学進学者利用イメージ(卒業後近隣市に就職した場合)

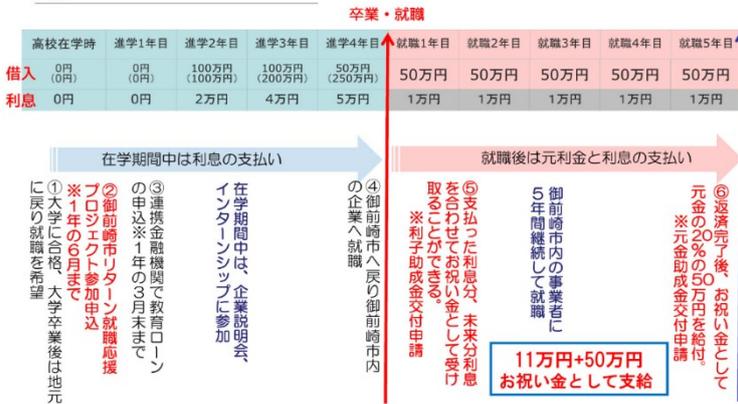
■ 限度額250万円(利息2.0%)で借り入れた場合



<4年生大学進学者利用イメージ(御前崎市内の企業に就職した場合)>

▶ 4年生大学進学者利用イメージ(御前崎市内の企業に就職した場合)

■ 限度額250万円借り入れた場合



3. 事業の現状と課題

(1) プロジェクト創生からの取組

- ・ 令和3年1月 リターン就職応援プロジェクト発足
 - ・ 令和3年2月 保護者向け説明会
 - ・ 令和3年4月 賛同企業者向け説明会
 - ・ 令和3年10月 地元高等学校への生徒・保護者向け説明会
 - ・ 令和3年11月 保護者向け説明会
 - ・ 令和4年3月 プロジェクト専用HP完成
 - ・ 令和5年5月 特集ページの取材、掲載
 - ・ 令和5年11月 保護者向け説明会の実施
 - ・ 令和6年1月 企業向けセミナーの開催
- ※他に参加企業との情報交換会を実施

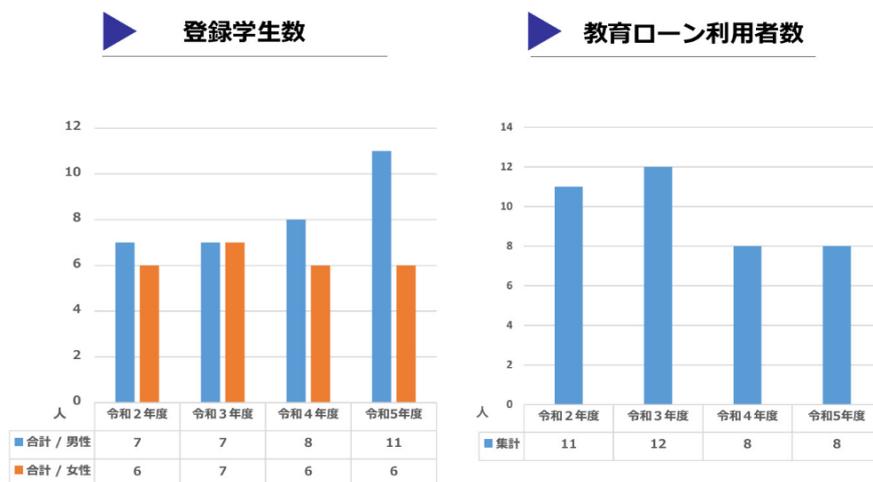
(2) 令和6年度の実施の事業

- ・ 令和6年6月 市町連携Uターン事業（賛同事業者新人職員研修）
- ・ 令和6年9月 令和6年度卒業対象者へアンケートの実施
- ・ 令和6年10月 特集ページの取材、掲載（賛同企業1社、令和6年度就職内定者）
- ・ 令和6年11月 保護者向け説明会の実施
- ・ 令和6年12月 企業説明会の実施
- ・ 令和7年1月 企業向けセミナーの開催（若手社員対象・管理職対象）

(3) プロジェクト創生後の課題

- 参加学生
- ・ プロジェクトの登録、教育ローンの申込に期限があること
 - ・ 長期に渡る利用者の管理方法について
 - ・ 学生に情報がどこまで届いているのか
- 賛同企業
- ・ 会社によっては、大手のサイトにも掲載しており、「TERRACE」の更新に手が回らない
 - ・ 人手不足で研修に参加できない
 - ・ 高卒者の雇用も伸ばしたい
- その他
- ・ 進学者だけではなく、高卒者の支援も必要
 - ・ 登録学生以外のIターン、Jターン希望者にも活用できるサイトの運営

(4) これまでの実績について



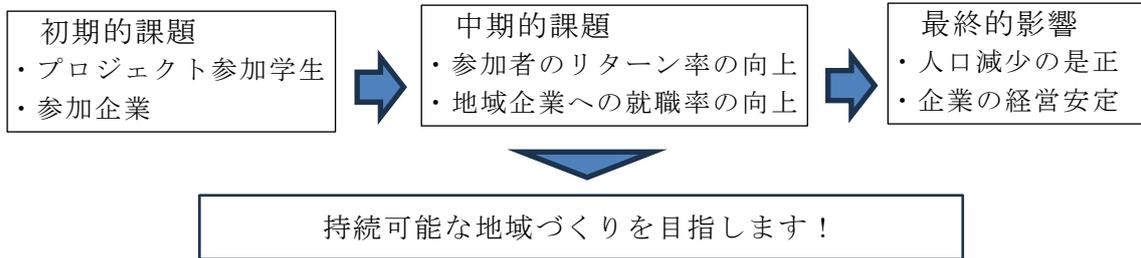
- ・ 賛同事業者登録数・・・110社
（御前崎市53社、牧之原市19社、菊川市12社、掛川市26社）
（業種順位、1位 製造業、2位 建設業、3位 介護・福祉事業）
- ・ 他市町への広がり
 - 令和3年1月 御前崎市リターン就職応援プロジェクト発足
 - 令和3年5月 牧之原市RIDE ON MAKINOHARAおかえりプロジェクト発足
 - 令和3年7月 藤枝市C'mon Wakamon（カモンワカモン）プロジェクト発足
 - 令和3年9月 川根本町ネクストリーダーズプロジェクト発足
 - 令和3年12月 吉田町From Yoshidaプロジェクト発足

※近隣市町で若者の取り合いをするのではなく、共に発展していくことを目的とするため、プロジェクトを実施している行政間での情報交換も実施。

- ・ 令和4年3月 第1回地方創生SDGs金融表彰を受賞
- ・ 令和4年11月 第17回マニフェスト大賞グッドアイデア賞優秀賞受賞

4. 今後の方向性

スキームによる成果を通じた地域への影響・変革
若者の働く場の確保と企業の雇用確保



5. 御前崎市就職応援情報サイト「TERRACE」の紹介

(1) サイト構築概要

事業名：御前崎市リターン就職応援プロジェクト就職情報サイト構築業務委託
予算：660万円
実施方法：一般公募型プロポーサル方式
履行期間：令和3年9月4日から令和4年2月28日

(2) ランニングコスト

運営費（ドメインサーバー等使用料）	499千円
更新手数料（特集ページ更新委託料）	297千円
合計	796千円

企業版ふるさと納税を活用

●御前崎市就職応援情報サイト「TERRACE」

- ・企業ページ（企業TOP写真、採用実績等、事業内容、企業の基本情報、セールスポイント、企業メッセージ、先輩（社員）の声、イベント・ニュース）
- ・学生向けコンテンツ① 企業を探す（検索機能）、イベント情報、ニュース
- ・学生向けコンテンツ② 就活にあったら面白い！キャッチコピーから起業検索機能
- ・学生向けコンテンツ③ 特集ページ（企業の魅力を伝える特集ページ）
- ・学生向けコンテンツ④ プロジェクト登録学生と一般閲覧者差別化（特典機能を付加）
- ・企業向けコンテンツ 企業情報の掲載や修正、お気に入り登録学生リストの閲覧やコンタクト

○所 感

リターン就職応援プロジェクト制度について視察を行って見て、人口減少や、産業や税収の問題など、本市と同じような課題を含有しており、そのような中、地元で活躍する若者を増やすために、専用のHPの開設やセミナーの開催、応援サイトの開設など前向きに取り組んでいる様子があった。特に、リターン就職応援助成金制度により御前崎市やその近隣市の企業に就職した学生の保護者に、借入利息相当額を助成金として支給するなど、金融機関と連携を取りながら進めていることをお聞きし、実際に市役所にこの制度を利用して入ってきた職員を紹介され、少しずつ実を結んでいるお話をお聞きできた。また、若者の働く場の確保と企業の雇用確保として、賛同事業者を募りと登録事業者数も110社と伸びてきている。他には、学生や保護者向けにセミナーや説明会などを丁寧に何度か開催するなど周知に努めているようであった。

○政策・提言

御前崎市の取組は、単に助成金を出すという制度ではなく、地元に戻ってくる学生や保護者、そして地元企業の意向や考えを取り入れた応援プロジェクトであると感じた。

また、近隣市町で若者の取り合いをするのではなく、共に発展していくことを目的としているというお話から、御前崎市を含めた近隣市との連携や、プロジェクトを実施している行政間での情報交換も行っていることは、近隣地域を上げて若者のリターンを応援している姿が見て取れた。本市にとっても、当市のみならず、近隣2市1町の広域の連携をより進め、またリターンの若者についての情報交換や取組の共有を図り、圏域全体として若者が地元に戻り、生活ができる、仕事ができる環境整備を進めることを提言する。

静岡県磐田市

・おせっかい支援事業について

○視察目的

磐田市では、おせっかい支援事業として、企業に市職員が積極的に訪問し、課題やニーズを伺いながら、支援機関の専門家と連携し、徹底的におせっかいすることで地域経済の活性化を図っている。

このことから、磐田市の取組を学び、今後の本市の事業の参考とする。

○視察概要

平成17年4月1日に旧磐田市、旧福田町、旧竜洋町、旧豊田町、旧豊岡町の5市町村が合併して新「磐田市」が誕生した。

磐田市は日本のほぼ中央、静岡県西部の天竜川左岸に広がる地域で、北部に森林、南部には海岸や天竜川などの河川や桶ヶ谷沼などの豊かな自然に恵まれている。天竜川に育まれたこの地には、早くから人々が住み始めた。今から約2万年前の旧石器時代の遺跡や、約900基余りの古墳群がそれを伝えている。また、奈良時代には国府が置かれ、江戸時代には東海道などが通り、また、海運の要請として繁栄した。

近年では、地場産業である繊維産業に加え、金属、自動車、楽器などの工業都市として、市全体の製造品出荷額は県下第4位、農業産出額も県内屈指で、農・水産物として温室メロンや茶、白ねぎ、海老芋、中国野菜、シラスなどが有名である。都市部と農村部が均等ある発展をしている。

交通は、東海道の中間地点に位置し、交通の要所として発展してきた地域であるため、東西方向の交通体系に恵まれている。鉄道は、東海道本線が市の中央部を横断し、天竜浜名湖鉄道が市の北部を横断しており、住民の交通手段として日々利用されている。また、道路は、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号線、国道150号・150号バイパスの主要道がある。



人口・世帯数の推移（令和6年3月末現在）

- ・人口総数 166,307人（男84,174人、女82,133人）
- ・面積 163.45km²
- ・人口密度 1,017人/km²
- ・世帯数 71,283世帯

■産業政策課について

I 企業立地推進グループ

- ・企業誘致
- ・企業の立地、拡張等のご相談をワンストップで支援
（用地情報、土地利用、事業拡張設備投資の支援等）

II 産業振興グループ

- ・市内事業者の現状把握（声を聞く）
 - ・支援策の実施、支援情報の発信
 - ・各産業支援機関の連携促進
- 「おせっかい支援」
- （商工会議所、商工会、金融機関、県、国、他自治体など）
- ・ふるさと納税事務 ⇒令和5年度より新たに担当

■おせっかい支援事業のきっかけ

リーマンショックなどによる不況の波が押し寄せた平成22年。日本屈指の製造業のまちである磐田市も予想以上の影響を受け、企業の業績や雇用などの面に大きく影響が及んだ。磐田市を支えている企業が苦しんでいる。そこで、行政としてもっとできることはないか。そんな声が職員から発せられ「がんばる企業応援団」がスタートした。

職員は「応援団員」となり、年2回市内の登録企業を訪問。市政情報の提供を行い、現場の実態や企業の困りごと、課題などを伺い、まずは、聞きに行こうから始まったのがきっかけである。

企業の声（経営課題）に対し、市役所職員は何ができる？



■おせっかい支援事業について

(1) 磐田市とともに企業の皆さんをサポートする支援機関「静岡県よろず支援拠点」がある。

静岡県よろず支援拠点とは、

- ・ 中小企業庁が全国に設置した中小企業・小規模事業者向けの無料の相談所
- ・ 本部は静岡県にあり、磐田商工会議所にサテライトオフィスがある。
- ・ 2021年7月現在、5人の専門家が市内企業のさまざまな経営課題の解決のため活動している。
- ・ 磐田市（産業政策課）と静岡県よろず支援拠点は、毎月1回専門分野ごとに定例会を実施している。

(2) 企業の皆さんを市職員が訪問し、課題やニーズを伺い、支援機関とともに解決策や実現に向けたお手伝い（おせっかい）をしている。



(3) おせっかいの流れ

- ・ 磐田市へ解決したい課題や相談内容を問い合わせ
- ・ 訪問や電話にて詳細をヒアリングし、専門家へおつなぎ
- ・ 専門家によるアドバイス等サポート

補助金のご案内、情報共有による広報支援、市内・市外企業とのマッチング支援

(4) 訪問・事例件数の推移

平成28年度から始め、企業訪問は年間1,000件、マッチング件数は年間約100件、成立件数は累計約230件となっている。

R 4 : 1,171件／48件 R 5 : 1,102件／87件

(5) 相談事例

- ・ 販路開拓

よろず支援相談者同士のマッチング（静岡県内全域）
新商品、新事業に関するアドバイス

- ・ I o T A I ロボット
 - 生産現場、受発注、顧客、在庫管理におけるシステム化
 - I o T A I ロボットの最近の動向紹介、事例紹介
 - 生産現場見学によるアドバイス
- ・ 創業、事業計画、業務改善
 - 多能工化、人事制度の整理に関するアドバイス
 - 既存、新規の事業計画作成のコツやポイント
- ・ W E B マーケティング
 - 既存の H P、E C、S N S へのコメント、アドバイス
 - 新規 H P 作成のアドバイス
 - W E B マーケティングに関すること（H P を作成することが終わりではない）
- ・ 現場改善（5 S）
 - 5 S に関する指導

■ R 6 市内事業者向け支援策

（1）販路開拓支援補助金

- ・ 展示会等出展に係る費用を補助
 - 補助率：1 / 3、補助上限額：国内10万円 海外30万円
 - ※オンライン開催も対象
- ・ 新たな販売先を創出する活動に係る費用を補助
 - 補助率：1 / 3、補助上限額：30万円

（2）人材育成事業費補助金

- ・ 人材育成のために市内で新たに実施する研修等にかかる経費を補助
 - （講師謝金、講師旅費、会場・設備借上費、テキスト代等）
 - 補助率：1 / 2、補助上限額：10万円

（3）脱炭素投資促進事業補助金

- ・ 自社の C O 2 排出量を把握し削減計画に取り組む事業者に対し、関連融資の借入にかかる費用を補助
 - 補助率：1 / 2、補助上限額：50万円（財源は、国10 / 10）

（4）産業振興フェア in いわた

- ・ 他の企業と交流の場を提供

○所 感

磐田市の産業を元気にすることが職員の一人一人の使命として、事業への取組に強い思いが伝わってきた。効果として、市の産業振興施策への反映、職員の資質向上、民間企業との連携促進、誘致企業の支援が新たな誘致につながっている。

現状13名の職員が自ら足を使い汗をかき、年間800回を超える企業訪問を行い、企業のニーズや課題を把握し、支援機関である「静岡県よろず支援拠点」とともに解決策や実現に向けた支援（おせっかい）への努力と行動力に驚いた。

この事業の政策過程は、市長の思いからとも話していた。また、企業訪問担当者を原則変えない。課長から部長に変わっても、企業訪問は退職まで変えずに対応（担当者は同じ顔）をしていくという組織体制に驚きを感じた。

おせっかい事業には、人々がお互いを支え合い、共に成長するといういい側面もあると考える。適切なバランスを保ちながら、相手のニーズや要望に寄り添いつつ、助けの手を差し伸べることで、社会の一員としての役割を果たすこともでき、地域経済活性化への結びつきを本市との共有の必要性を学んだ。

○政策・提言

本市において、磐田市のように職員自らが企業訪問し、おせっかいをする取組は困難であると考えますが、足を使い汗をかく姿勢は、見習うべきと感じた。

本市も、企業訪問までではないが、事業者支援の中で、創業支援関係セミナーとして「石巻産業創造株式会社」へ委託し、創業開成塾【石巻市創業支援事業計画に基づく、特定創業支援事業に該当】 創業が具体化している方、事業を営んでいる方で、改めて創業の基本を学びたい方、創業を目指している方、創業に関心のある方で、創業に関する4つの知識（経営・財務・人材育成・販路開拓）を学べるセミナーと補助金・助成金活用セミナーとして、小規模事業者持続化補助金（小規模事業者が作成した経営計画に基づいて行う販路開拓の取組サポート）及び業務改善補助金に興味がある方で、補助制度・活用事例・申請時の注意事項を学べるセミナーを行っている。補助金・助成金活用セミナーの講師に関しては、宮城県よろず支援拠点からきている。

本市として、宮城県よろず支援拠点との窓口もあることから、更なる連携を図り、セミナーの在り方を事業者のニーズに寄り添いながら、適切な手助けを提供することで、よりよい社会の実現に合った内容へ積極的に取り組み、地域経済活性化への結びつきを提案する。